



創立150周年

5月号（令和5年4月28日発行）

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

今年は少しだけ早く季節が過ぎていきます

校長 玉置 恭美

入学当初は少し戸惑っていた1年生も、一人でできることが増え、給食当番や清掃活動などで自分の役割を知り、しっかりと取り組んでいます。進級した2～6年生の児童たちは、新しい担任の先生の前、学級目標を決め、係の仕事に取り組み、新年度の学校生活が順調に進んでいます。そして、常時活動が必要な委員会では、前年度の委員が責任をもって仕事に取り組み、4年生は新たに始まる委員会活動に意欲的です。

4月から、学校内でもマスクの着用は、各自の判断になりました。前年度中から登下校や外遊び、体育の授業では、マスクははずしていましたが、今年度は音楽の授業でも、一定の距離をとれば、マスクなしで歌唱やリコーダー演奏が可能となりました。少しず



つ以前の状態に戻ってきた学校生活ですが、感染症の不安が完全になくなったわけではありません。年度初めの4月、児童たちは、うがい、手洗いをしっかりと実行しながら、一人ひとりが、少し背伸びをして、今年の「めあて」を決め、新緑の若葉のように、ぐんぐんとそれぞれの良さを伸ばそうとしています。

今年は、始業式前に梨の開花が進み、3年生は受粉後の花を観察するのみとなりました。5年生が昨年度植えたジャガイモがすくすくと育ち、昨年度の6年生が東門近くに植えた40個のチューリップの花がきれいに咲きました。2年生が野菜を栽培する畑は、苗植えの時を待っています。5年生を中心として、今年も稲作に取り組めます。「150周年記念の年の米」として立派に育ってくれることを願います。

11月に創立150周年式典を迎える鉄小学校です。今年度、学援隊を再編成し、登下校時の見守りをお願いしたところ、保護者の方々、町内会や寿会の方々が快く引き受けてくださり、ご自宅の近くで、「鉄小学援隊」の帽子をかぶり、児童の登校を見守ってくださっています。心から感謝いたします。

